



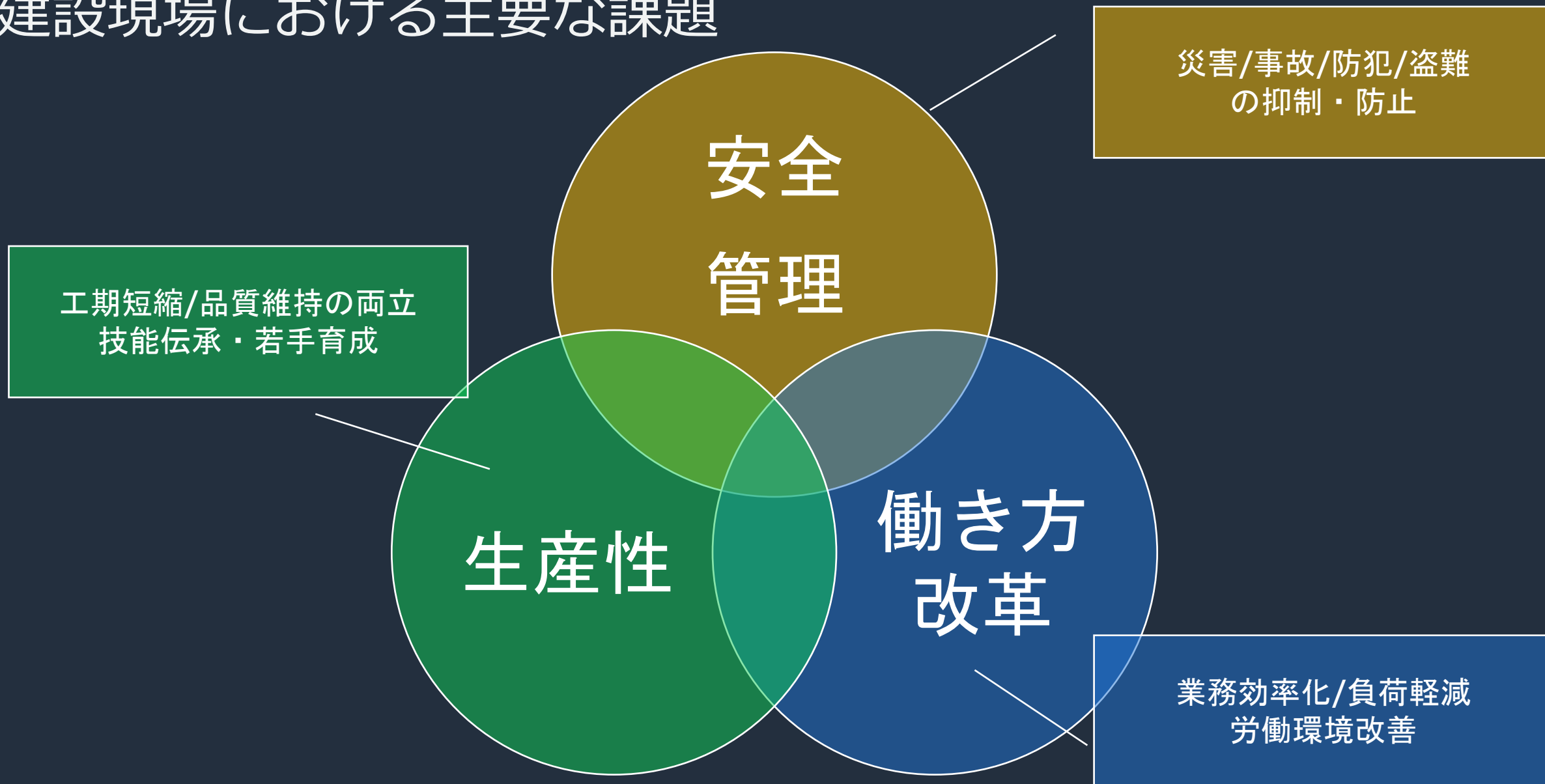
AWS Summit Japan 2026 建設・不動産ブース 展示資料

CEDIX

Construction Edge Data/Device Intelligence X (Transformation/Extension)

2026.6

建設現場における主要な課題



現場課題解決へデジタルの力でのアプローチ

安全管理
災害/事故/防犯/盗難
の抑制・防止

働き方改革
業務効率化/負荷軽減
労働環境改善

生産性
工期短縮/品質維持の両立
技能伝承・若手育成

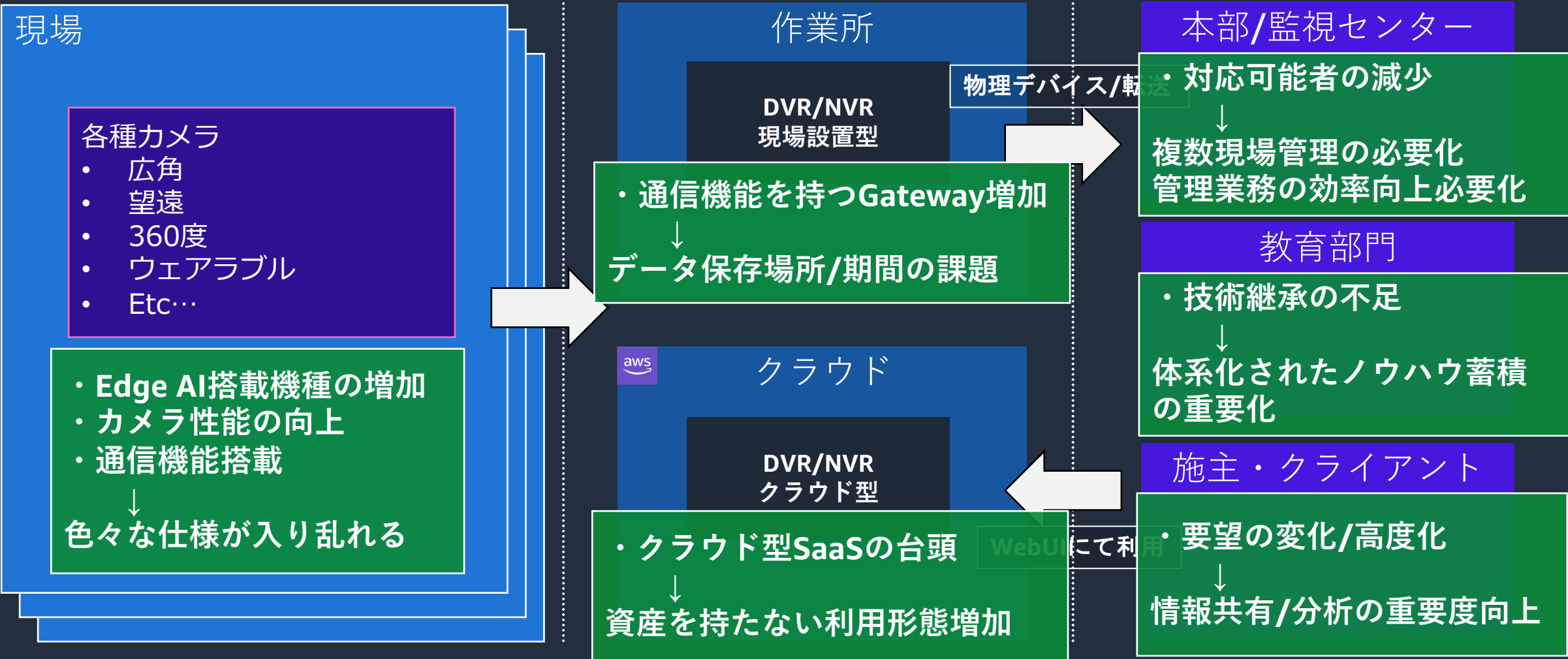
クラウド
場所を問わず対応！
需要に応じて自由に拡大！

AI活用
生成AI含む最新技術を駆使し、
既存の情報価値を最大化！

共有
現場内・現場外で価値の高い
情報を円滑に共有！



構成・利用方法・関係者に起こっている課題/変化



CEDIX

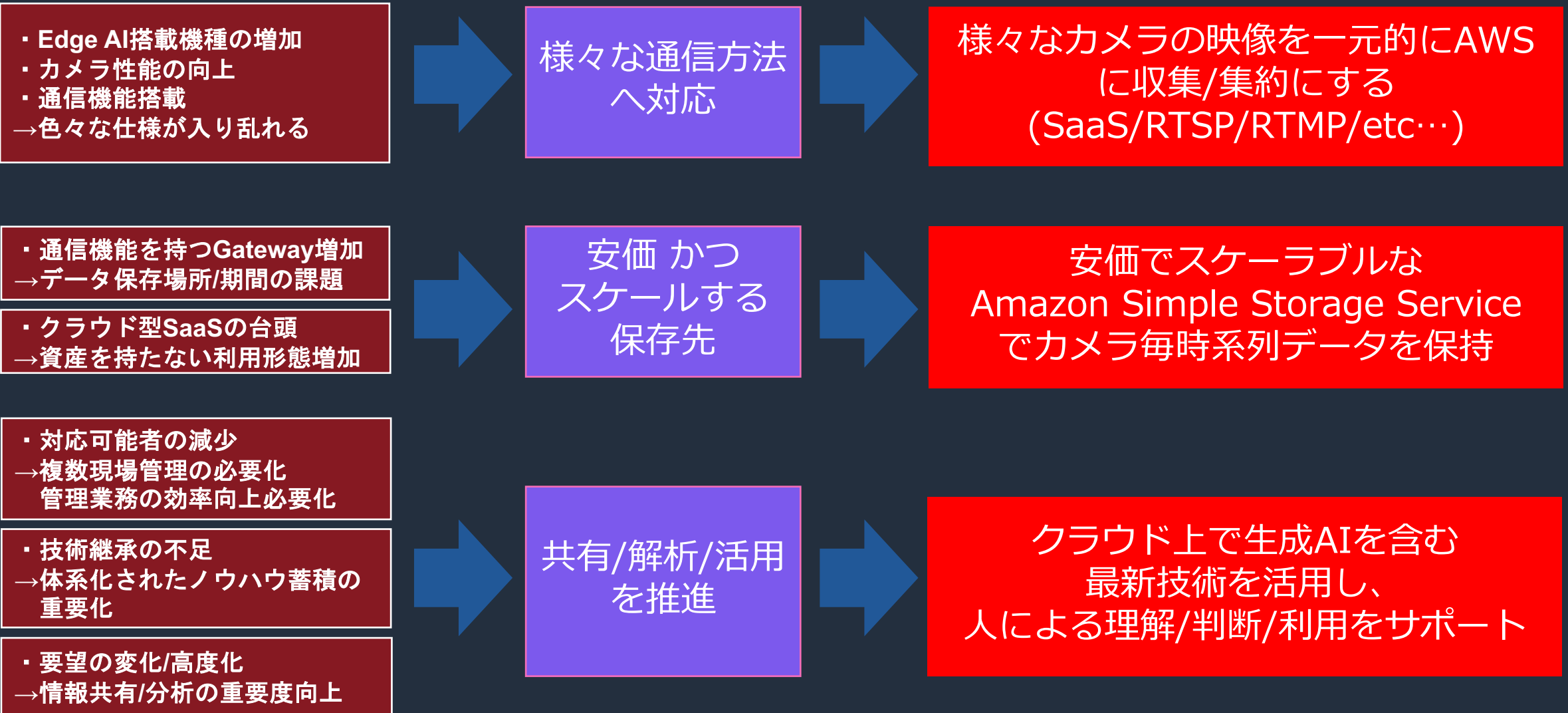
Construction Edge Data/Device Intelligence X (Transformation/Extension)

現場の多様な映像データをクラウドに集約し、
AIによる高度な解析と洞察を含むデータの価値向上に寄与することで、

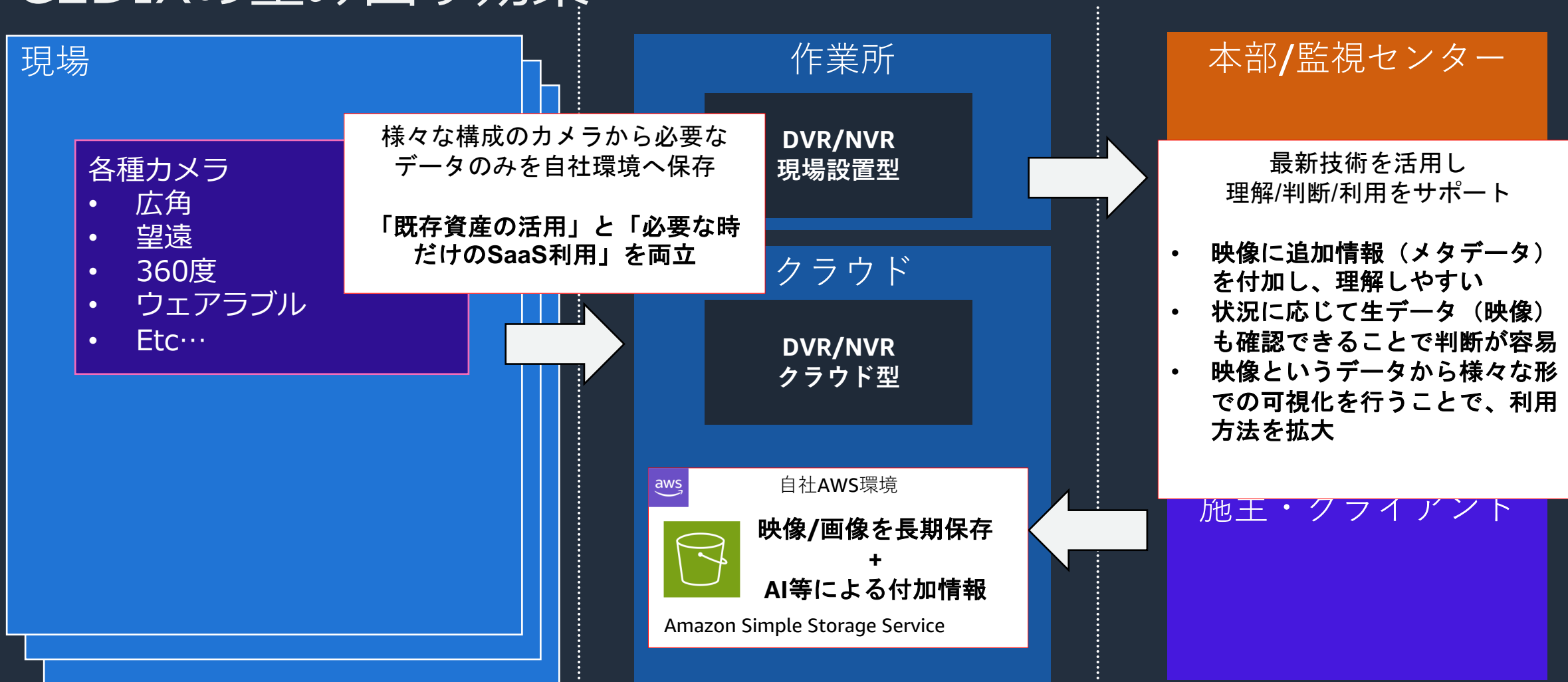
現場DXを強力に推進する

拡張性の高いプラットフォーム

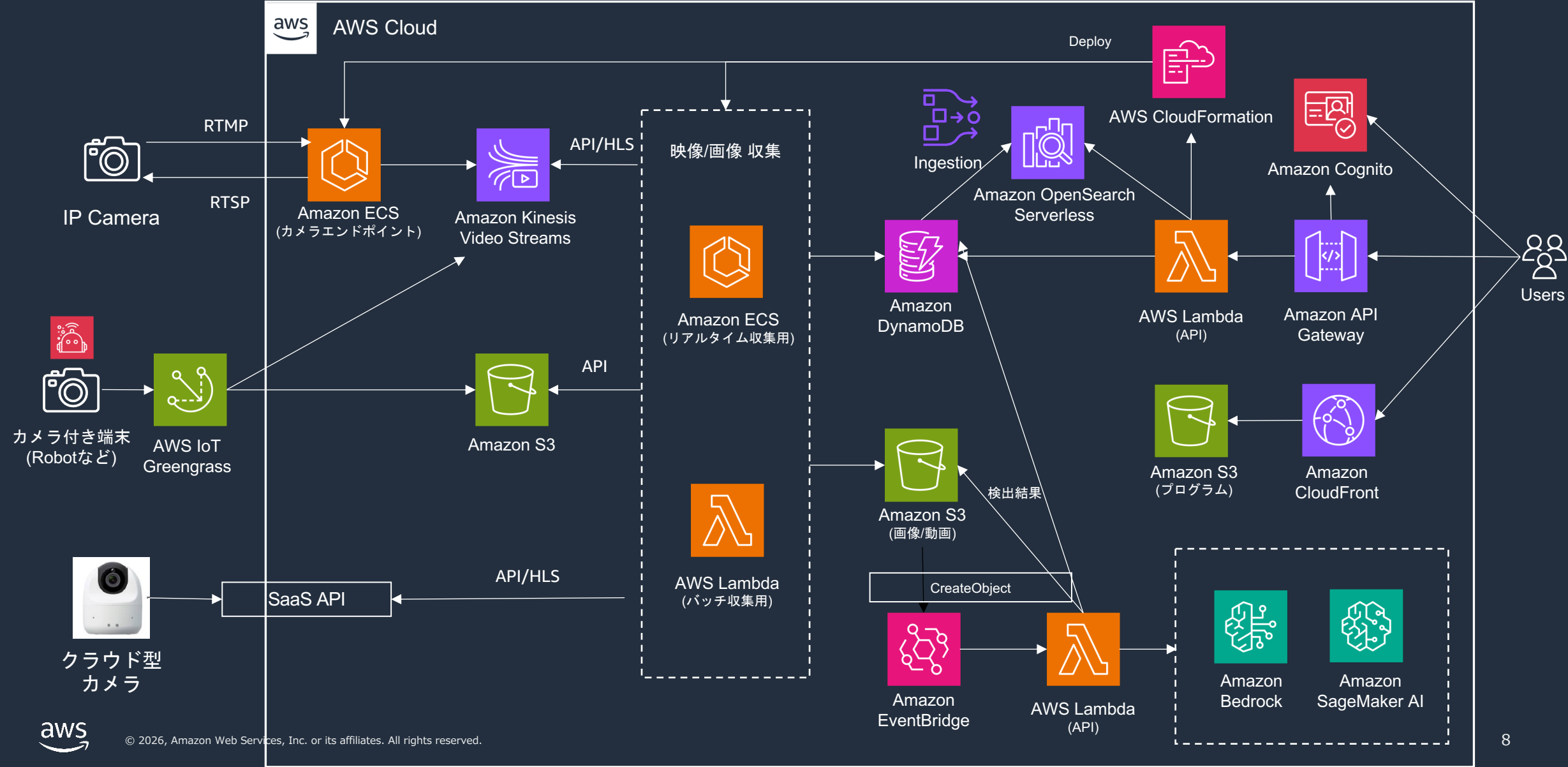
CEDIX による解決策/改善策



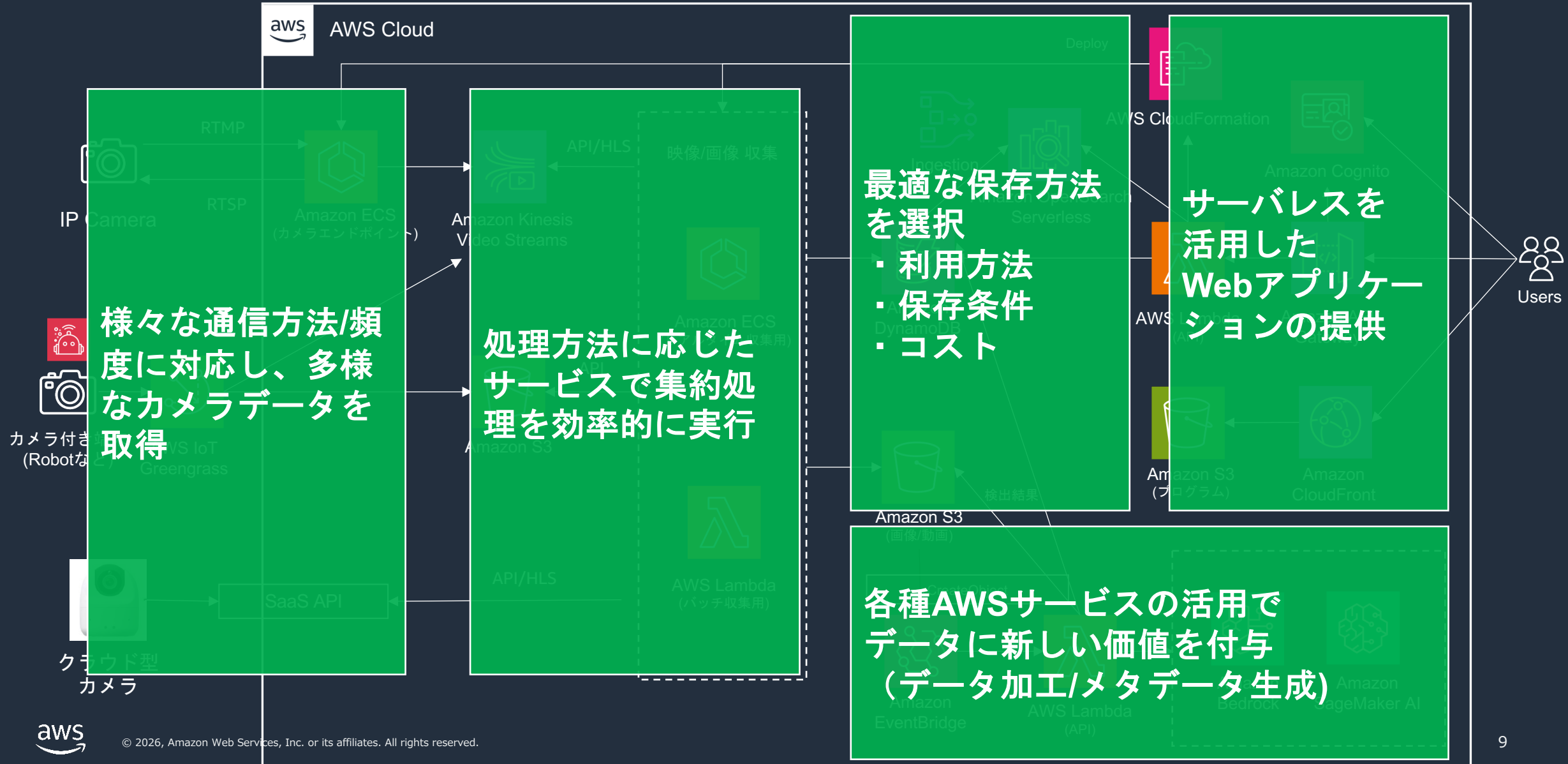
CEDIXの生み出す効果



Architecture



Architecture



ユースケース 1 安全管理の精度を高める

1.既存カメラを活用可能！

→Gatewayの活用やカメラの持っているデータ連携機能により活用できていなかったデータを集約して価値を生む源泉に

2.現場毎に違うシチュエーションに対して生成AIの汎用性で対応！

→従来型機械学習で難易度の高かった異なる条件での利用時も柔軟に変更可能なプロンプトでカバー

3.遠隔や現場横断で対応！

→クラウドでデータを保持/解析するので複数現場や遠隔地でも同じ感覚で利用可能

また遠隔操作可能なロボットがあれば不足データの収集も容易に

ユースケース2 現場で何が起こっているかを可視化

1.動画・画像に対して自由度の高いタグ付けが可能！

→安全管理以外でも用途に応じたプロンプトでタグ設定が可能

2.関連するタグと動画・画像を使って生成AIによるレポート作成！

→そのままでは利用しづらい動画・画像にタグ情報と生成AIを組み合わせることで容易にレポートを生成

3.シンプルな操作で実際の動画・画像に簡単アクセス！

→各種タグによる検索や、レポートなどから元となる動画・画像を簡単に参照可能

ユースケース3 再利用性の高いデータ保持

1.動画・画像は安価なストレージで保持

→動画・画像は非常に容量が多くなるため、
Amazon Simple Storage Service (S3)でコスト効率よく保存

2.使いやすいサイズでの保存

→動画をそのまま保存するのではなく生成AIなどのサービスから
扱いやすいサイズに分割して自動保存

3.各種AWSサービスからの容易なアクセス

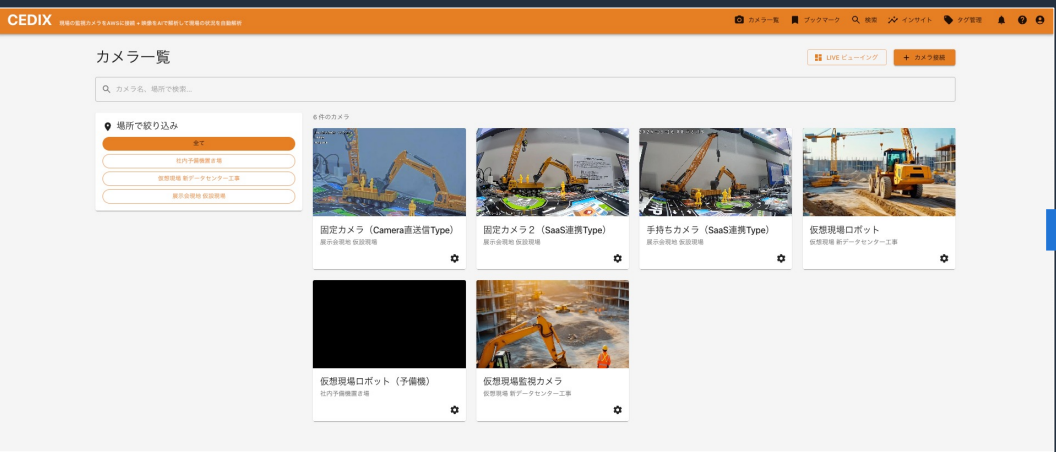
→S3 の各種AWSサービスとの親和性の高さを生かして、
新しい機能追加時のデータアクセスが容易になる

画面例

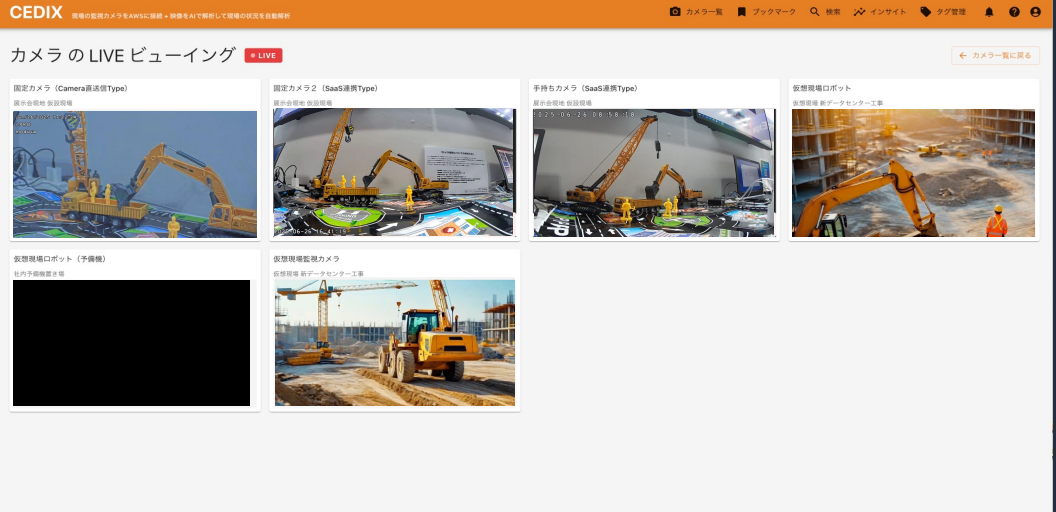
カメラ基本機能

カメラ一覧

設置場所別で表示可能なカメラ&サムネイル表示

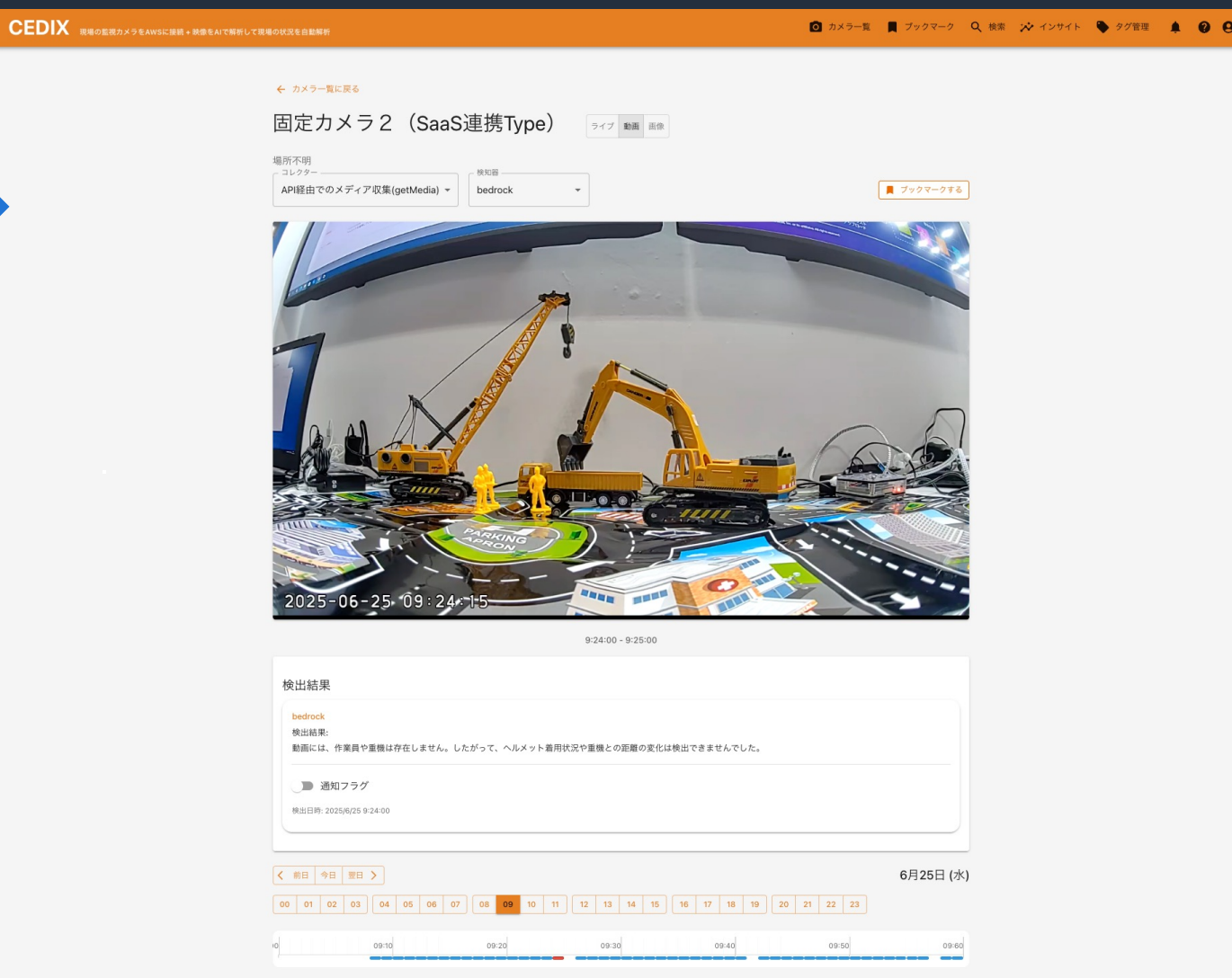


Liveビューイング 最新情報表示



カメラ詳細

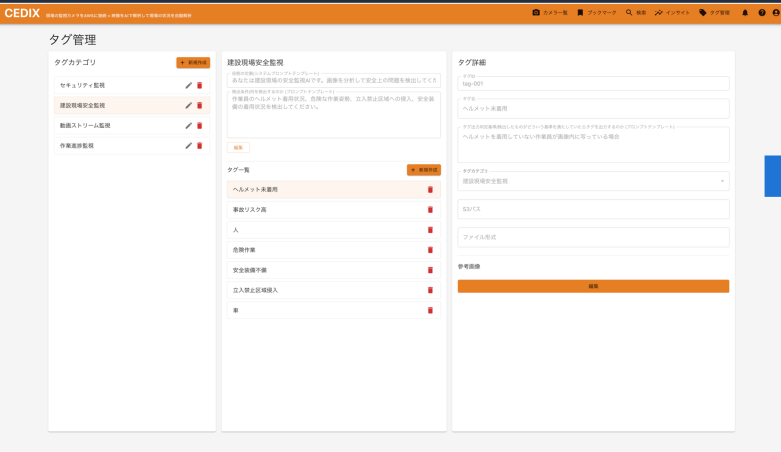
ライブ・動画・画像を切り替えて表示。過去分は画面下部のセレクターで対象選択



生成AIによる自動タグ設定と活用

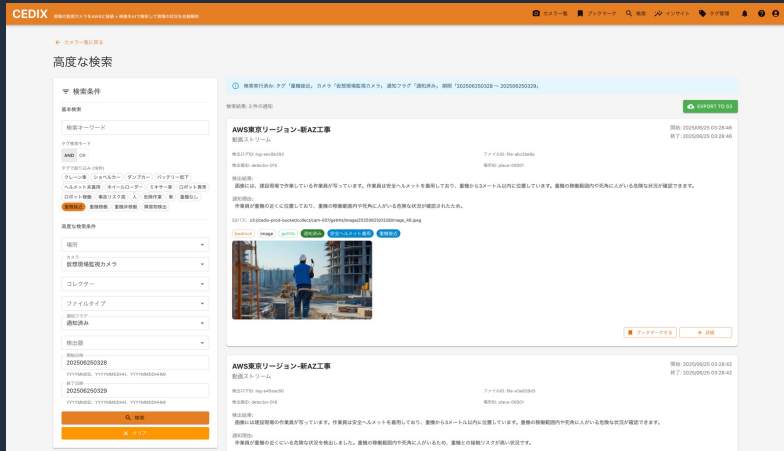
タグ管理

カテゴリや名称・検知する条件を
プロンプトとして設定



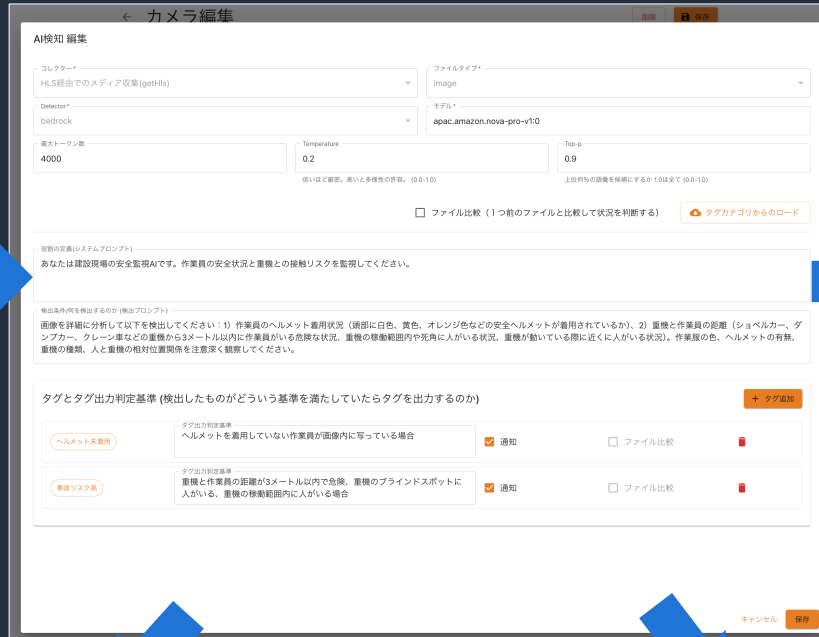
高度な検索機能

設定されたタグを元に絞り込み



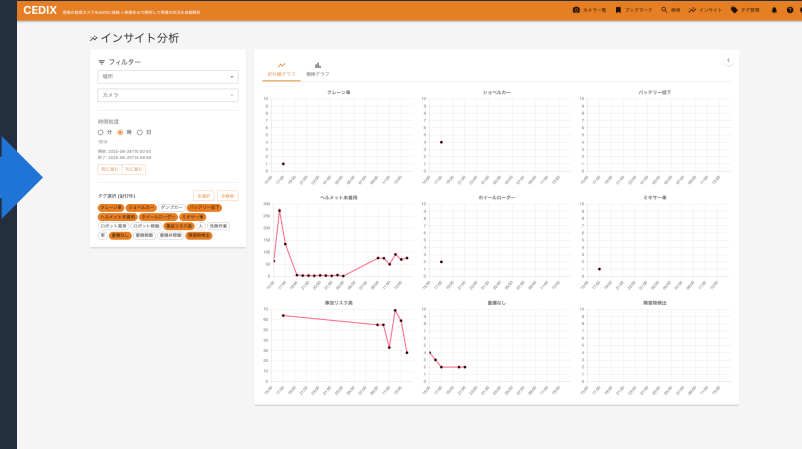
カメラAI検知設定

カメラ毎に生成AIによる検知設定と
紐付けしたいタグを登録



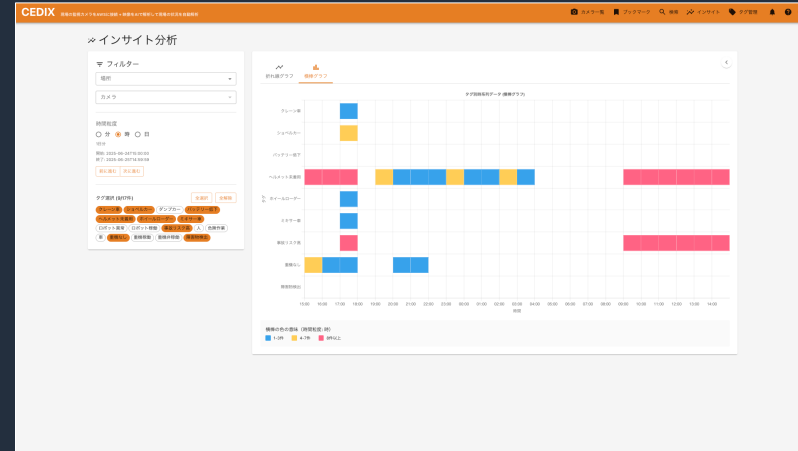
インサイト分析 1

カメラ別のタグ発生状況を
折れ線グラフで可視化



インサイト分析 2

カメラ別のタグ発生状況を
ヒートマップで可視化





Thank you!